

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・外来の客がやや増えている。これからも地域のイベントがあり、来客数が増えていく。
		一般小売店〔紙類〕（経営者）	・今月は新型インフルエンザの影響で来客数は減少したが、落ち着けばまた観光客は増加する。この増加傾向は基調となっており、これから良くなっていく。
		一般小売店〔酒店〕（経営者）	・25日から定額給付金給付に合わせて1割増しの当市限定の商品券が発行されるので、客の動きが良くなる。
		スーパー（店長）	・客の様子、販売量の動きに、景気の底打ち感が感じられる。新型インフルエンザの影響で一時的に来客数が減少しているが、これが落ち着けば更に良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・客の行動は活発になってきているので、多少は上向く。
		衣料品専門店（店長）	・近くにディスカウントスーパーができて影響が懸念されたが、来客数は増えている。また新型インフルエンザも下火になり、更に来客数が増える。加えて新型インフルエンザの影響で、社内で関西・東京方面への出張が禁止されていたが解禁になったので、夏物商戦に向けて、新しい商品が入ってくる。
		家電量販店（店長）	・エコポイント制度の詳細が決定し、更に需要が高まる。
		家電量販店（店員）	・エコポイント制度も実施され、またボーナスも支給されるので良くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・ハイブリッド車の影響もあり、車に興味を持つ客が増えている。新規来客数も増えていて、今後は微量ではあるものの、販売台数増加が見込める。
		乗用車販売店（統括）	・新型インフルエンザなどの話もあるが、現実には今とあまり変わらず推移する。今までも、景気が大変良かったとは実感していない人が多いので、客はいざ景気が後退しても自分にリストラなどが降りかかってきたようなケース以外は、楽観的である。
		自動車備品販売店（経営者）	・来客数の回復が今一つの状況だが、前年と比べてガソリン価格が落ち着いており、高速道路料金引下げの効果で車の移動も増えており期待は持てる。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・客に金が回るようになってきたようだ。そろそろ我々の業種にも、恩恵がある。
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人）	・これからも大差なく推移する。ただ8月お盆期間の割引日設定によって、数値は大きく変動する。
		観光型ホテル（スタッフ）	・夏休みに入れば、またファミリー層の動きが出てくる。ただし、また何が起こるか不安ではある。
		都市型ホテル（従業員）	・景況感も上向きになりそうで、新型インフルエンザが収束すれば少しよくなる。
		通信会社（企画担当）	・客とのやりとりで、経済状況に変わりはないものの、更に悪くなっているという話は以前より増えていない。何となくだが、もう少し待てば良くなるという雰囲気は出てきている。
		テーマパーク（業務担当）	・高速道路料金引下げによる出かけやすさが、追い風となる。
		美容室（経営者）	・少しでも良くなるように様々な企画を立ててチラシや店内周知に努めており、またサービスの向上にも努めている。
		変わらない	変わらない
一般小売店〔茶〕（経営者）	・いろいろと景気対策もなされているが、良くなるという実感が無い。私も周辺店舗も、このような景気状況でも経営できる、体質造りをする努力をしている。		
一般小売店〔酒店〕（営業）	・景気対策も頭打ちで、良くなる材料もなく、かといって悪くなる材料もない。		
百貨店（営業担当）	・今の節約生活に慣れてしまっているもので、夏物、クリアランスの時期になっても期待できない。		
百貨店（営業担当）	・国内の消費マインドは冷えきっている。顧客の気持ちの中に買物を楽しむゆとりが生じるまでは、しばらく時間が必要である。		
百貨店（販売促進担当）	・回復の兆候が見られない。とはいえ全ての店舗が悪いわけではなく、持ち直しの傾向が見受けられる店舗もある。		

百貨店（販売促進担当）	・これから中元、セールと夏の大きな商戦が続くが、中元については前年同様、件数の絞込み、単価の低下が厳しくなる。セールについても、春から夏にかけての商戦が全国的にこれほど低迷していると、製造にまで影響することが考えられ、大きな期待は掛けられない。
百貨店（購買担当）	・プレミアム付き商品券が順調に売れたことで、売上はこれからも増える。定価商品は相変わらず苦戦しているが、セール商品についてはかなり大きな催事をして順調に売れているので、クリアランスが始まる来月、再来月はかなり良くなる。
百貨店（販売担当）	・新型インフルエンザの影響は見られなくなるとは思うが、セール期に入っても、今の必要なもの以外は購入しないという動きに変化はない。
スーパー（店長）	・現状の低価格を訴求した販売競争激化の悪影響が、仕入先はもとより、流通、生産者に至るまで、何らかの形で現れる。
スーパー（店長）	・工業地帯に立地しているため、産業関係で今の状態が続く限りは、店の状態も今の状態が続く。
スーパー（総務担当）	・単価の下落の影響が大きい。「必要な物を必要なだけ、しかもできるだけ安い物を」という客の動向がよいよ顕著になってきた。安全安心な国産品が良いのは分かっているが、安ければ外国産でも仕方ないという人がほとんどである。
スーパー（経理担当）	・売上動向などから見ても、上向きの要素が見当たらないので、しばらくはこのまま推移していく。
スーパー（経営企画）	・商品の1品平均単価は前年割れが続いており、今後もこの傾向は続く。
スーパー（販売担当）	・食パンのように値下がりした商品もあるが、依然、客の購買意欲に変化はない。
スーパー（管理担当）	・景気回復の見通しも立たず、消費意欲の低迷はまだまだ続く。また、安価なプライベートブランド商品ばかりが伸びており、買上点数は変わらなくとも金額は下降する一方である。
コンビニ（エリア担当）	・パンを中心に取り扱いが広がるが、パンは値下げすれば売上が増えるというものでもなく、また新規の店も少なく、同じパイの中で取り合う厳しい状態がこのまま続く。
衣料品専門店（経営者）	・固定客に少し動きがあるものの、新規の動きがない。
家電量販店（店長）	・相変わらず客は必要なもの以外は購入しない。今年は猛暑ということだが、この様子では客はエアコンが壊れでもしない限り、買換えない。
家電量販店（予算担当）	・エコポイントに期待を込めたいところだが、開始直後の現時点では判断は難しい。
乗用車販売店（経営者）	・政府の対策が効果を現すのは秋以降になる。米大手自動車会社の去就などが落ち着いてくるのも、秋以降になりそうだ。
乗用車販売店（統括）	・減税効果は一時的なものと思われる。その他の車の売行きはかなり厳しい状況である。
乗用車販売店（サービス担当）	・8月は夏枯れの時期になるため、あまり期待できない。
その他専門店〔書籍〕（従業員）	・市場はこれからも縮小するが、過剰出店による飽和状態は変わらない。
高級レストラン（スタッフ）	・前年に比べて厳しい状況が続く。これから予約がどの程度入ってくるか、先行きは不透明である。
スナック（経営者）	・定額給付金は、何かまとまったことをしようというほど額が多くはない。高速道路料金引下げは走れば走るほどガソリン代が掛かるので、それほど遠くはいけなない。土産物屋はもうけたという話もあるが、市街地中心部ではちっとも良くなったという話は聞かないので、これからも変わらない。
その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	・集客力のある施設への外出が控えられており、景気が上向くかどうかは今後のインフルエンザの沈静化次第である。
都市型ホテル（スタッフ）	・宴会の予約が少なく、企業訪問をしても、「今のこのご時世だから今年からやらないことにした。」と言われることが多い。
都市型ホテル（総務担当）	・景気が回復する要因が見当たらない。自動車産業や為替、株価などは改善しているようでも、地方にまで波及している雰囲気はない。
タクシー運転手	・6月には旅行代理店を通じて多少仕事は入っており、変わらずに推移するが、夜の動きには全く期待できない。

	通信会社（社員）	・不況のニュースが多いが、良くなっているわけではないにしても、思ったほど悪い状況にはまだなっていない。しばらくこの状況が続く。
	通信会社（営業担当）	・客の通信に関わる予算が削減されており、上向かない。
	通信会社（総務担当）	・客の節約傾向は、常態化した感がある。割安な通信媒体の増加も脅威であり、今の状態が続く。
	テーマパーク（広報担当）	・高速道路料金引下げにより個人客の伸びは期待できるが、団体客の減少傾向が変わる兆候がない。
	テーマパーク（管理担当）	・新型インフルエンザ等、明るい話題がない。
	ゴルフ場（営業担当）	・今の状況では下げ止まらない。これから単価を引き下げ、売上を維持する方向で対応する。
	美容室（経営者）	・客の話に、数か月で状況が改善する様子が見えてこない。自営業をしている客は、店を維持のための資金を借りており、それを返すための方策にこれから苦慮しなければならないといっている。
	設計事務所（経営者）	・優遇税制などの具体的な景気対策が決まらなると、建築主の気持ちは動かない。
	住宅販売会社（経理担当）	・不動産に対する客の予算が、今後増加するとは考えにくい。
	住宅販売会社（販売担当）	・今月の展示場イベントへの来場者数が前年比2～3割減と、減少が続いており、今後の受注もしばらく厳しさが続く。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・客の買い控えも感じられ、景気が良くなっている実感が無い。
	商店街（代表者）	・商店街の中に店舗があるが、良くなるという話は皆目聞かない。それでも前よりは悲観的ではなくなっている。
	百貨店（売場担当）	・不要なものは買わない感覚が定着し、先行きの不透明感もある。また、物を買うより貯蓄を殖やしているとの声を良く聞く。
	スーパー（店長）	・近くの大手工場の休業日が、更に増える予定がある。
	コンビニ（エリア担当）	・来客数や買物状況を見ても、良くなる兆しが見えない。これからスーパーなどへ流れたり、昼に弁当などを持参したりする人が増えてくる。
	コンビニ（エリア担当）	・スタッフ（パート）の入れ替わりがあり、募集したところ、昼間の仕事をもちながら夜も仕事をしたいという人が数多く応募してきた。20～30代の人ばかりでなく、40～50代の人もあり、こんな状態が続くとすれば良くはならない。ただし、たくさん買って行く客もあり、それほど悲観することはない。
	コンビニ（エリア担当）	・タスポ効果がなくなり、それに加え、不景気による消費低迷はしばらく続く。また、新型インフルエンザによる外出を控えることによる、客数減少も懸念される。
	衣料品専門店（地域ブロック長）	・競合他社でも低価格路線をとるところが増えてきているので、競争がいよいよ厳しくなる。
	衣料品専門店（地域ブロック長）	・今後も新型インフルエンザが流行すれば、更に来客数はダウンする。
	家電量販店（店長）	・既に夏のボーナスは20%減などと報道されており、客の財布のひもはいよいよ固くなり、消費にまで回ってこない。
	一般レストラン（店長）	・現在は昼の来客数が減り続けている状態であり、回復する様子は見られない。
	観光型ホテル（経理総務担当）	・新型インフルエンザによるキャンセル、旅行の自粛は6月も続く。宴会の法人利用も相変わらず低調である。
	タクシー運転手	・夜の仕事は引き続いて減少しそうで、昼間の仕事も若干下がり気味であり、やや悪くなる。
	タクシー運転手	・新型インフルエンザのせいか、客の表情がまた暗くなってきている。また出張時にタクシーの使用を禁止する企業は更に増えそうなので、前年より売上は少なくなっていく。
	通信会社（通信事業担当）	・パソコン購入時に、インセンティブの大きい他社回線に乗換えるケースが多く、新規獲得は苦戦している。
	設計事務所（経営者）	・客の住宅購入のための資金内容の改善がない限り、需要の低迷は続く。
	住宅販売会社（従業員）	・展示場への来場者数の減少に加え、客の反応が更に落ち込んできている。さらに景気悪化による資金面が都合できなくなったことによるキャンセルが、依然として出ている。
悪くなる	百貨店（売場担当）	・取引先の自己防衛に拍車がかかり、ショップの撤退、派遣社員の引上げ、販促費の削減と、これからもマイナス要素しかない。

		スーパー（店長）	・身の回りで良い材料はこれといってなく、これからもっと悪くなる。近辺の自動車製造業にも好転する気配は全くない。
		スーパー（店長）	・競合他社、他業種との集客合戦は、これから日増しに強くなる。
		スーパー（財務担当）	・競合店との価格競争が激しくなっており、ますます利益率が悪化する。
		コンビニ（エリア担当）	・今後も価格訴求をしなければ売れない動きが見えており、ますます客単価の低下が予想される。
		衣料品専門店（販売促進担当）	・夏のボーナスが出ないかも知れないなどの客の声もあり、まだまだ景気回復は見込めない。客単価上昇に欠かせないGパンの動きが悪いので、厳しい時期は続く。
		住関連専門店（広告企画担当）	・理由は買い控えが進んでいる以外にない。特に耐久消費財は、買い控えられている。
		一般レストラン（店長）	・ファミリー層の外食回数の減少を感じている。さらに高速道路料金引下げにより、郊外への流出は一層進み、我々チェーン店にとってマイナスになっている。
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる		
		繊維工業（統括担当）	・この販売不振は新型インフルエンザの影響もあるため、2～3か月先には落ち着く。
		木材木製品製造業（経理担当）	・在庫調整の一端感も出てきたことや、政府の景気浮揚対策が徐々に効果を現してくる。
		化学工業（総務担当）	・取引先の動向が少し明るくなってきている。
		非鉄金属製造業（経理担当）	・自動車関連商品に需要回復への期待がある。国際商品市況も上昇しつつある。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・自動車関連、白物家電関連もようやく底を脱した感覚が出てきており、3～6か月先の受注も確実に増加する計画が提示されている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・地元の自動車産業が底を打っているため、これからは良くなる。これに伴って他の産業も追々良くなる。
		金融業（業界情報担当）	・依然として低水準ではあるが、エコカーの売行き好調が下支えとなり、生産は緩やかに回復する。
	変わらない	化学工業（総務担当）	・依然として景気動向は不透明感が強く、当面は現状を維持する。
		鉄鋼業（総務担当）	・環境対応車に対する優遇税制による自動車販売増に期待するものの、国内の自動車生産台数の大きな回復は期待できない。下期も厳しい状況が続く恐れがある。
		金属製品製造業（総務担当）	・当社の営業マンは今後数か月では大きく変わらないと見ている。ただ、得意先より中国からの引き合いが増えてきているとの話を聞いている。
		電気機械器具製造業（広報担当）	・受注が回復する見通しになっていない。
		建設業（経営者）	・取引先なども含めて悪いまま推移しそうだが、これ以上悪くなるという雰囲気ではない。
輸送業（統括）		・既存顧客に対しては景気の影響をあまり受けないが、新規顧客が獲得できないため、これから現状とあまり変化しない。	
通信業（営業企画担当）		・取扱サービスの価格の引き下げに関する依頼が相次いでおり、取引先各社の設備投資の先行きが見えない。	
金融業（営業担当）		・相変わらず悪い状況は続いている。ただし、まだ具体的な動きはないが、このままではいけないから何か新しいことをしよう、例えば農作物を加工して新しいものはできないかといった、前向きな姿勢は頻繁に見受けられるようになっている。	
広告代理店（営業担当）		・地場の自動車産業はエコカー開発に完全に乗り遅れており、工場のレイオフ解除も予定がなく、将来に向けての積極的な材料があまりない。	
会計事務所（職員）		・売上高の落込みが製造業の一部では底を打ったように思える。しかし、建設業界においては、発注者の倒産に遭って一気に資金繰りが悪化する事例が出始めている。	
やや悪くなる	食料品製造業（総務担当）	・大幅に売上を下げるといえることはないが、値上げが取引先にどうひびくか、分からないところもあって、数か月で見れば少し下がる。	
	一般機械器具製造業（経営企画担当）	・国内、海外共に市場の冷え込みは今後も続く見通しであり、回復の兆しは全く見られない。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・キャンセルが少し出てきている。また将来に向けての受注も取れていない。	

	悪くなる	農林水産業（従業者） 窯業・土石製品製造業（総務経理担当） 一般機械器具製造業（総務担当）	・シーズンであるイカが相変わらず不漁であり、沖合い底引き船が資源保護のために盆まで休漁に入る。さらに5月一杯で底引き船が1船団廃業するなど、水揚げ減少に歯止めが掛からない状況が続く。 ・大口スポット案件も6月前半までで生産終了する。スポット案件の引き合いは低調で、鉄鋼業など大口需要家の引き合いも低調である。人員削減の効果もあり、臨時休業をかるうじて回避できるかどうかといった状況が続く。 ・受注量や販売量の動きが低調に推移する。
雇用 関連	良くなる やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（担当者）	・本来の状況に戻るにはまだ数か月かかるが、製造業での稼働状況が上向いていることは間違いなく、また景気が現状のレベルで停滞するとは考えられない。
		人材派遣会社（営業担当）	・取引先事業所の閉鎖や、派遣社員だけでなく正社員の人員調整の話も多く聞こえてくる。自動車関連の取引先では、秋頃からの生産回復見込みの声もあるが、今後の2～3か月では景気は横ばい状態といっている。
		職業安定所（職員）	・規模の小さい下請の製造業から、雇用調整助成金等の申請が増加している。そういう事業所の話では、今までは多少受注が減少しても、複数の事業所から仕事を請けることによって生産を続けてきたが、6～7月以降は受注の見込みが立たなくなったとのことである。また消費意欲の低下から、小売業からの休業の相談も出始めている。
		職業安定所（職員）	・休業等による雇用調整は行われているが、景気は下げ止まった雰囲気がある。ただし回復に向かうには更に期間が必要となる。
		職業安定所（雇用開発担当）	・非正規雇用の雇用調整には一服感があるが、休業等の雇用調整を実施している小・零細企業事業主の中には、一部に事業に見切りをつけようとする動きがある。
	民間職業紹介機関（職員）	・昨今の節約志向に加え、新型インフルエンザによる外出控えなども重なり、消費が更に冷え込む状況であり、6～7月はまとまった連休もなく、経済を活性化させる材料がない。	
学校〔短期大学〕（就職担当）	・求人件数が昨年と比べ減少している。周囲の企業の状況を見ても、求人が増加するとは思えない。		
やや悪くなる	求人情報誌製作会社（担当者）	・来春卒の採用者数が未定の企業が見受けられる。	
	職業安定所（職員）	・受注量の低迷が継続している製造業を中心に、全体的に求人意欲の低さが目立つ。来春の卒業予定者を対象とする就職フェアの参加企業も大きく減少した。	
悪くなる	民間職業紹介機関（職員）	・労働市場に、平均的な人が応募できる正規雇用求人、及び非正規雇用求人の数が少なすぎる状態が続く。また、正規雇用の求人に対しては、求職者側に「求人側が要求する経験がない、要求するスキルがない、要求する資格がない。」という現実が大きく立ちはだかっている。	